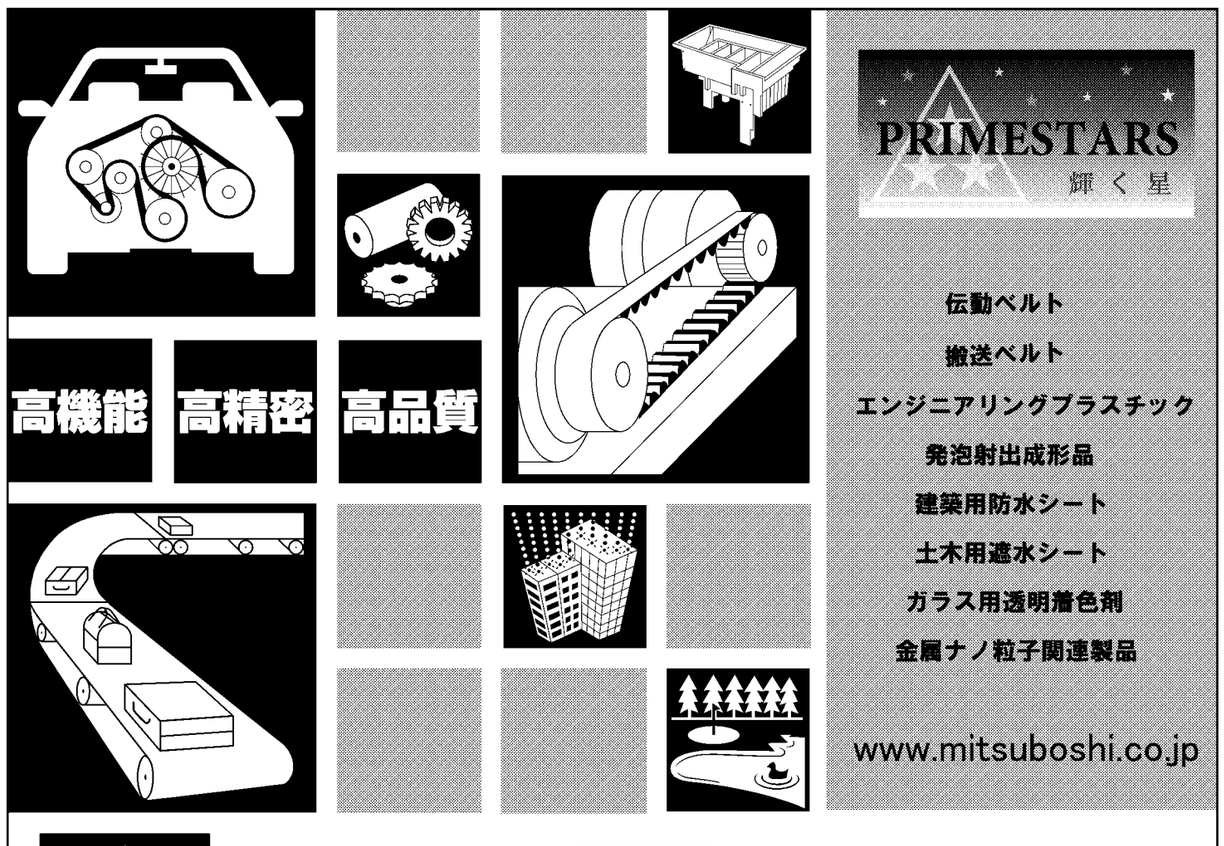


三ツ星ベルト
MITSUBOSHI

三ツ星ベルト株式会社　神戸本社 / 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号　東京本社 / 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
海外拠点 / アメリカ　ドイツ　ポーランド　シンガポール　タイ　インドネシア　台湾　中国　インド　ベトナム

世界最大の戦艦「大和」を造ったドイツ生まれの旋盤は、七十数年を経た今も現役だった。「大艦巨砲」の思想と技術を誇らしく体現した戦艦「大和」。しかし、堂々と砲弾を放ち合う大海戦とは無縁のまま沖縄への途上、米軍機の集中攻撃によって3,000余りの兵とともに沈む。無用の長物でしかなかったのか…。いや、そうではなかった。そこで結集された技術は戦後の急速な復興を支えつつ、ものづくりニッポンの礎として脈々と生き続けたのである。「きしろ」の播磨工場には、今もなお蒸気機関車ほどもある長大な体から鉄くずを吐き、うなりを上げて、たゆまず鋼を削っている旋盤の勇姿があった。

株式会社きしろ　代表取締役社長　松本好隆
本社／〒673-0881 明石市天文町2丁目3-20
TEL078-917-1223 Fax 078-917-1226
http://www.k3.dion.ne.jp/~kishiro/

遠隔監視・計測・制御システム

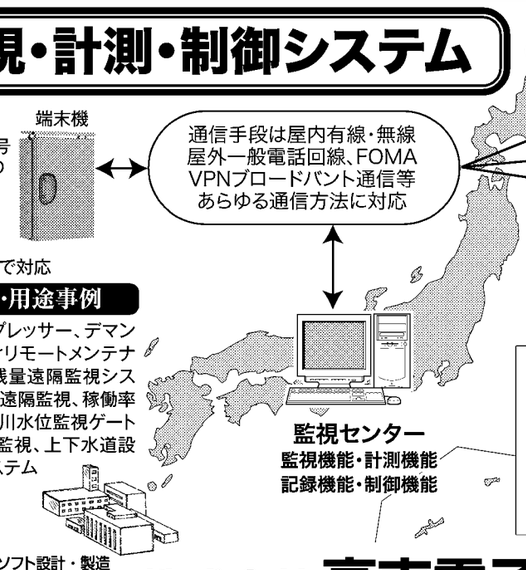
端末機入力信号
アナログ信号・デジタル信号
PLC、各種計測装置からの
シリアル信号に対応

筐体の種類
屋内型・屋外型・携帯型
自立盤等々オーダーメイドで対応

遠隔監視システム・用途事例
工場では空調設備、コンプレッサー、デマンド監視、設備メーカー向けリモートメンテナンスシステム、液化ガス残量遠隔監視システム、無人工場、工作機械遠隔監視、稼働率管理、気象データ監視、河川水位監視ゲート開閉制御、冷凍冷蔵庫の監視、上下水道設備遠隔監視、福祉関連システム

オリジナル製品
上水道水質自動計測装置

マイコン応用電子機器ハード・ソフト設計・製造
遠隔監視・計測・制御システム
水質自動計測システム



マイコン応用電子機器
ハード・ソフト設計製造

特注品単品生産から小ロット生産、量産OEM生産等々あらゆる生産方法にフレキシブルに対応、ソフト面ではご希望のニーズに合わせて企画設計からご相談に応じてまいります。

ICタグ活用システム
各種資産管理、在庫管理システム、薬品管理システム等々　業務の効率化を実現させます。

株式会社高東電子
〒651-2148　神戸市西区長畑町596
TEL078-961-2107　FAX078-961-2108
http：//www.koutou.co.jp　e-mail　info@koutou.co.jp

海外に羽ばたく企業 応援したい

2012年、兵庫県の自治体、地元産業界、金融機関では中小企業の海外展開を支援する動きが見られた。4月に神戸商工会議所は国際ビジネス支援総合ネットワーク窓口を、日本政策金融公庫神戸支店は海外展開サポートデスクを設置した。神戸市も7月にアジア進出センター、兵庫県は10月に香港に経済交流事務所を開設した。新年を迎えた今、これまでの取り組みや成果を追った。

サポート体制構築
情報提供、融資強化も

神戸商工会議所は12年4月から海外ビジネス支援用の総合窓口を設け、各種相談や情報提供などを強化した。11月末までの相談件数では海外取引のノウハウや輸出入取引についてが、34件（前年同期比1・21倍）、貿易トラブルが12件（同2倍）のほか、海外からの引き合い情報提供も143件（同1・3倍）、セミナーも15回で1002人（同10回で871人）と増えるなどその成果が出はじめている。

日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業神戸創業支援センターも4月に融資と情報提供する海外展開サポートデスクを設置した。11月20日までの海外展開資金貸付制度の実績は20件（7750万円）で、その多くは販路拡大や市場調査などの海外販売強化資金だ。製造業の利用が金額ベースで4割と最も多く小売業が2割強、卸売業が2割弱と続く。進出先は中国（5割）を含むアジアが6割以上で、その7割弱が従業員4人以下、さらにその5割が初進出となっている。同センターでは「貸付金の多くは進出調査費などの準備資金に当てられた」と分析している。

アジアビジネスの機会拡充と情報交換を目的とする「みなとアジアサークル」を有するみなと銀行も4月に「アジアビジネスサポートローン」の取り扱いを始め、11月末現在で4億2000万円の実績を上げた。セミナーなども11年11月の同サークル発足から計8回累計320社が参加した。特に6月のベトナムセミナー&企業交流会ではベトナムから5社が参加、125人が交流した。会員も11月末現在で発足時110社の約2倍の215社に増やしている。

▲……みなと銀行が開いた「ベトナムセミナー」（12年6月）

アジア目指す中小支援
相談手厚く 視察も実施

神戸市はアジア進出支援センターを7月末に開いた。現在、中国やタイなど13カ国のセミナー開催のほか、製造業や商社のOBや専門職「アドバイザー」71人が相談と企業訪問にあたっている。セミナーは11月末で計8回、15人のアドバイザーが企業訪問した。「受講者は常に定員の50人に近く、11月のベトナムセミナーには60人参加、個別相談も多かった」（檀特竜王所長）という。

人気はベトナムとタイ、中国やインドネシアがこれに続き、相談はアジア新興国での販売ルート確立やその会社設立が多い。13年2月にはタイとベトナムに進出中の中小企業や工業団地を訪問する初の海外視察ツアーを開く。

今後はアドバイザーの質の向上と他の支援機関や海外との連携を強化するほか「需要に応じて対象国を増やし、深堀りする」（同）と意気込む。

一方、兵庫県は11年11月に「ひょうご海外ビジネスセンター」を設立し、国際ビジネスサポートデスクを広州、上海、大連、ホーチミンに置いた。現地の県人会などの協力で企業の海外進出、貿易、業務提携の支援、セミナーなどを展開している。4月には新たにデリー、バンコク、ジャカルタを加えて計7都市とし、11月末までの相談件数は約200件（約150社・団体）にのぼる。その約70件（約40社・団体）が各都市のサポートデスクにつながれた。

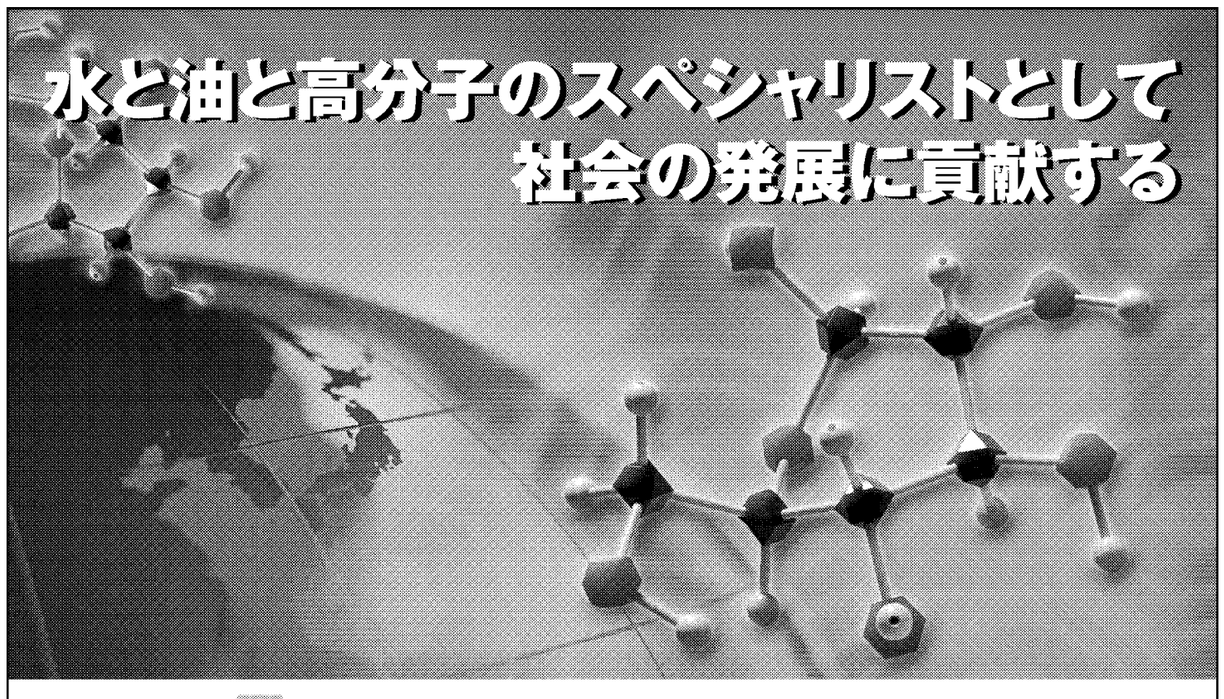
件数トップは上海や広州など中国の約4割で、それにホーチミンが3割で続く。相談の8割強を製造業が占め「進出国選びは親会社や取引先の関係を重視し、現地法人設立や部材調達先など工場進出を前提とする相談が多いが、国内生産拠点を止めて進出する企業はない」（古田賢センター長）という。10月、香港に兵庫県経済交流事務所を開設し、従来のパリ（フランス）やシアトル（米国）など4カ国の海外事務所との連携も強めていく。

日本貿易振興機構（ジェトロ）神戸貿易情報センターの県内企業の利用件数は10年が1710社、11年は2268社と約1・3倍で「今年の利用件数はまだ集計していないが同様の傾向が見られる」（斎藤滋所長）という。ジェトロの海外事務所でサービスを受けた企業も9月現在で77社（前年同月は64社）と、今年度は2割増だ。

相談のトップは中国での委託生産やサービス業の進出が多いが、9月以降、インドネシアやベトナムも増えている。セミナーは30回に及び、12月のアフリカセミナーには定員60人に対し、約120人が参加した。

兵庫県や神戸市と合同参加した8月の香港の展示会ではスウィーツや日本酒などに270件の商談が寄せられ、今後は食品関係にも力を入れる。兵庫・神戸の中小企業の海外展開はこれらの働きもあって積極化しているが、進出後を不安視する傾向も根強い。トラブルや撤退などに対する支援の充実いかんが中小企業の海外展開のカギを握りそうだ。

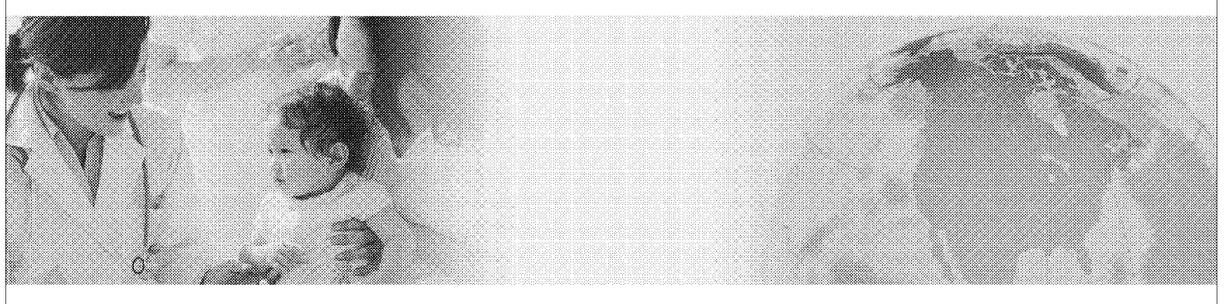
企業ニーズへの対応強化を目指して設置した神戸市のアジア進出支援センター



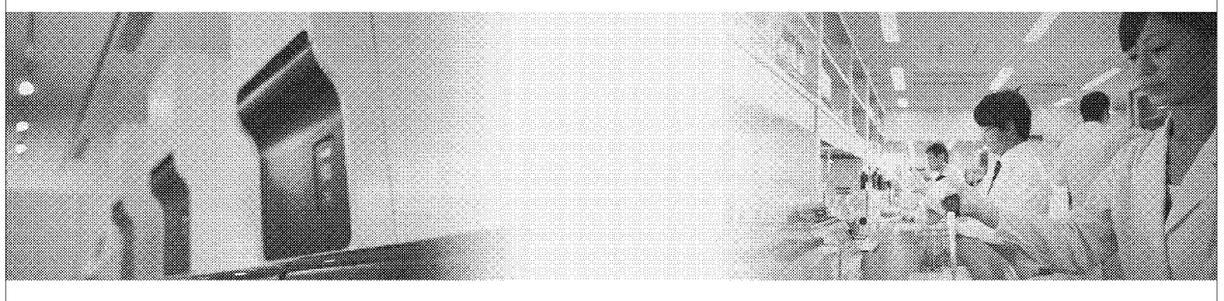
Products
◆高真空ポンプ油　◆ホットメルト接着剤　◆ハードディスク表面潤滑剤
◆切削油　◆難燃性作動液　◆スルホネート
◆高温用合成潤滑油　◆ダイカスト用油剤　◆有機デバイス用封止材
◆流動パラフィン

株式会社MORESCO
本社／神戸市中央区港島南町5丁目5-3
カスタマーセンター／TEL.06-6262-3385
http://www.moresco.co.jp/
東証第一部〈証券コード：5018〉

sysmex



神戸から世界中の人々の健康を支えるために――
シスメックスの製品は、世界170カ国以上で活躍しています。



We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 〒651-0073　www.sysmex.co.jp